

熱可塑CFRP(CFRTP)技術

独自の炭素繊維開織技術によるプリプレグ、及び成形品

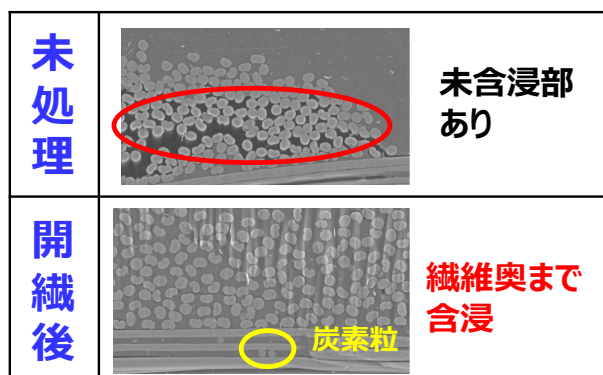
1. 弊社独自の炭素繊維開織技術



利点

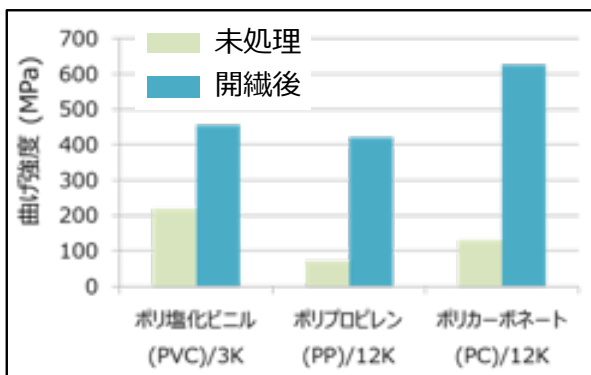
- ✓ 熱可塑樹脂の含浸を容易化 ⇒ 高粘度樹脂使用可能
- ✓ 未処理炭素繊維を用いたCFRTPと比較して強度大幅向上
- ✓ UDに加えて3K織物や12K織物も処理可能 ⇒ 厚肉プリプレグ実現

含浸状況の比較 (CFRTP断面写真)

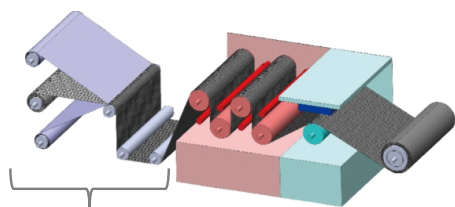


※：条件 炭素繊維：3K織物、ポリプロピレン樹脂、温度200℃にて加圧なし、2分間加熱後の状況

樹脂含浸後物性 (曲げ強度)



2. 炭素繊維プリプレグ生産技術



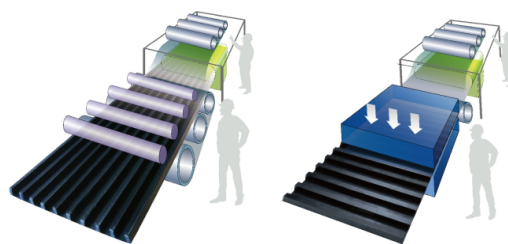
開織炭素繊維、樹脂 樹脂含浸装置

- ✓ 高粘度樹脂を用いた連続成形
- ✓ 高生産性の実現

利点

- ✓ 生産性大幅向上
- ✓ 厚肉CFRTPプリプレグ連続生産

3. 異型断面連続成形 (開発中)



引抜成形

連続プレス成形

利点

- ✓ 長尺品生産による二次加工削減